

品質性能表

品質項目	品質	試験方法
容器の中の状態	堅い固まりがなく一様になる	JIS K 5600 1-1
密度	1.35±0.05g/ml	NNK-001
鏡面光沢度	95±5	JIS K 5600 4-7
引張強さ	18±2 N/mm ² (MPa)	JIS K 6251
引裂強さ	80±5 N/mm	JIS K 6252
破断時伸び	15±10%	JIS K 6251
硬さ試験	70±5	NNK-009 タイプDデュロメーター
付着強さ	2.0 N/mm ² (MPa)	NNK-005
すべり試験(C.S.R)	乾燥面 0.97	NNK-003 すべり片A 平滑仕上げ面
耐摩耗性	70±10mg	NNK-004 摩耗輪:CS-17 9.8N荷重 1000回転
衝撃強さ	100回割れなし	NNK-002 衝撃区分A
可使用時間	40分	当社試験法 23℃
耐水性	水に浸しても異常がない	JIS K 5600 6-2
耐アルカリ性	アルカリに浸しても異常がない	JIS K 5600 6-1
耐酸性	酸に浸しても異常がない	JIS K 5600 6-1

※NNK(試験法):日本塗布床工業会試験法

注意事項

- 施工前の注意
 - 5℃以下の場合には、施工を避けてください。
 - 降雨・降雪・高温時およびその恐れがある場合には、施工を避けてください。
 - 湿度が80%以上の場合は、施工を避けてください。
 - 下地処理は、付着力を決定する重要な工程ですので、充分注意して行ってください。
- 施工中の注意
 - プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると上塗り塗料との付着力が低下します。プライマーと次の工程までは、同一日に行ってください。
 - 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
 - 二液型材料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間(ポットライフ)にも充分注意して施工してください。
 - 下地が濡れている場合は、充分に乾燥させてください。
 - 材料を小分けする場合は、硬化剤(色のついている方)を充分攪拌し、均一にした後必ずはかりを用いて計量、混合してください。
 - 有機溶剤を使用した塗料のため、周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
 - 静電気対策のため、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
 - 密閉場所で作業する場合には、充分に換気出来る装置を取り付けてください。
 - 気温の低いときには乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 下地面別の注意
 - 新設コンクリートは、最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前日に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
 - 普通コンクリートにおいてレイトンス、エフロレッセンス等をポリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
 - 油面コンクリートは、下地の状態により処理方法が異なります。処理後#500油面プライマーまたは、油面強化コンクリート用プライマーを使用してください。
 - 既存塗装面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- 製品上の注意
 - U-100NEOを外部に使用する場合は、トップコート(フロアトップ#7000+マークレス)をご使用ください。使用状況によっては黄変する場合があります。
 - U-100NEOの主剤と硬化剤を混合したまま放置すると反応が進行し発熱します。その際容器に触れると火傷をする恐れがありますから、混合した塗料は、出来るだけ早く使い切ってください。
- 全般的注意
 - 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
 - 塗装中、乾燥中とともに換気をよくしてください。
 - 改良等のため、①製品の中身、仕様②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
 - 当販促物に表示しております施工面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。施工の際の諸条件によって増減する場合があります。
 - 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

FLOOR TOP U-100 NEO

衝撃に強く、割れにくい! エポキシ並みの鏡面仕上げ

超硬質二液ウレタン
フロアトップ

U-100 NEO

ネオ



食品工場、厨房



整備工場



一般工場



病院

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



事業所情報

260502KO-26

ATOM'X

ウレタン樹脂にエポキシ樹脂の物性をプラス！ アトミクスが幅広いお客様の ニーズにお応えします。

フロアトップU-100NEOは、超硬質ウレタン樹脂の塗り床材です。エポキシ樹脂のような光沢と耐久性を付加し、またウレタン樹脂の特徴である耐摩耗性と柔軟性も兼ね備えています。硬質で継目のない緻密な床面ですから、汚れや傷がつきにくく、また、重量物の衝撃にも割れにくいので、食品工場や整備工場等、従来エポキシ樹脂の割れに困っていた場所に最適です。



フロアトップ U-100NEO (一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03002
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

フロアトップ U-100NEOアンダー (一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03166
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

特 長

- 耐衝撃性**
塗膜に適度な柔軟性があるため、衝撃に強く、割れにくい。
- 鏡面仕上がり**
無溶剤のエポキシ樹脂塗料のような、鏡面状態に仕上がります。
- 作業性**
粘度が低く、ポットライフが長いため夏場の作業性も良好です。また専用硬化促進剤の使用により、冬場の硬化を速くすることも可能です。
- 耐汚染性**
硬度が高く、鏡面に仕上がりますので汚れにくく、耐汚染性に優れています。
- 美装・保護**
仕上がりに継目がなく、水洗いしても剥離の心配がありません。
- 低臭性**
刺激臭がありません。(当社比)
- 耐熱水性、耐薬品性**
従来のウレタンよりも耐薬品性に優れています。また、従来のエポキシよりも耐熱水性に優れています。
- クラック追従性**
下塗りでU-100NEOアンダー+柔軟添加剤を入れる仕様により更に割れにくさを実現します。



施工前



施工後

用 途

自動車整備工場・一般工場・病院等(耐久性、耐衝撃性等が要求される場所)
食品工場・食堂・厨房等(割れにくく、異物混入の防止、耐熱水性)
工場の打ち継ぎ部分、割れで困っている部位

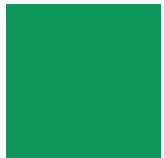
標準色

標準色(全6色)

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。色の確認は別途色見本をご確認ください。



#110 ディープグリーン



#111 グリーン



#120 ライトグレー



#133 スパニッシュブラウン



#150 アイボリー

※フロアトップU-100NEOアンダーの色はグレーです。

FLOOR TOP U-100NEO

施工仕様例

■標準施工仕様 流しのべ工法 膜厚2.0~3.0mm

工 程		製 品 名	塗布量 (kg/m ²)			施工方法	塗装間隔(時間/23℃)
1	下 地 処 理	—	—			ゴミ、ホコリを取り除く。下地に油類が残っている場合は十分に脱脂する。	—
2	下 塗 り	プライマーU	0.20			プライマーUにGフィラーを30%混合後、電動攪拌機を用いて充分混合攪拌した後、ローラーばけ等で均一に塗布する。	3～8
		Gフィラーホワイト	0.06				
3	上 塗 り①	U-100NEO	1.30	1.70	2.00	主剤と硬化剤を1:4(重量比)で混合し、合成シンナーNo.2、硬化促進剤を気温に応じた添加量加え、プロベラ3枚羽の電動攪拌機を用いて充分に混合攪拌する。	16～24
4	上 塗 り②	U-100NEO	1.40	1.70	2.00		—
膜厚 (mm)			2.0	2.5	3.0	※環境規制等の対応が必要な場合、別途仕様になりますのでお問い合わせください。 ※耐熱水仕様を組む場合は、ウェットガードプライマーをご使用ください。	

■標準施工仕様 クラック追従工法 膜厚2.5mm

工 程		製 品 名	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔(時間/23℃)
1	下 地 処 理	—	—	流しのべ工法と同様	—
2	下 塗 り	プライマーU	0.20	流しのべ工法と同様	4～8
		Gフィラーホワイト	0.06		
3	中 塗 り	U-100NEOアンダー +柔軟添加剤	1.40	硬化剤：添加剤(=12.5:2.5kg)と合成シンナーNo.2、硬化促進剤を気温に応じた添加量を加え混合する。最後に主剤2.5kgを加え、プロペラ3枚羽の電動攪拌機を用いて充分に混合攪拌してください。	24以内
4	上 塗 り	フロアトップ U-100NEO	2.00	主剤と硬化剤を1:4(重量比)で混合し、合成シンナーNo.2、硬化促進剤を気温に応じた添加量を加え、プロペラ3枚羽の電動攪拌機を用いて充分に混合攪拌する。	—

■U-100NEOの硬化促進剤添加量と可使時間・硬化時間 <表1>

温度 (℃)	5			10		15		20		30
U-100NEO硬化促進剤量 (重量%) 注1)	0	1	2	0	1	0	0.5	0	0.25	0
合成シンナーNo.2(重量%)	5	4	3	4	3	2	1.5	1.5	1.25	1.5
可使時間 (分)	40	30	20	40	20	40	30	40	25	30
上塗り可能時間 (時間)	24	20	10	16	12	12	8	8	6	6
開放時間 (時間)	40	24	16	24	16	16	12	10	8	8

※開放時間は歩行開放時間です。 ※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。
注1) 添加量は厳守してください。添加量がズレた場合、塗膜の仕上りに影響がでることがあります。またU-100NEOアンダーへの硬化促進剤の添加量は、別途お問い合わせください。

■U-100NEOアンダー+柔軟添加剤の硬化促進剤添加量と可能時間・硬化時間 <表2>

温度 (℃)	5	10	15	20	30
U-100NEO硬化促進剤量 (重量%) 注1)	2	1.5	1	0	0
合成シンナーNo.2(重量%)注1)	0~1	0~1	0	0	0
可使時間 (分)	30	30	30	20	15
上塗り可能時間 (時間)	16	16	16	16	16

注1) 硬化促進剤の添加量は厳守してください。添加量が異なる場合、塗膜の仕上りに影響が出ることがあります。

容量・荷姿

品 目	色	材 質	構 成	配合比(重量)	内容量 荷姿
フロアトップ U-100NEO	6色	ウレタン	主 剤	1	3.2kg 4L角缶
			硬化剤	4	12.8kg 石油缶
フロアトップ U-100NEOアンダー	—	ウレタン	主 剤	1	2.5kg 4L角缶
			硬化剤	5	12.5kg 石油缶
U-100NEO硬化促進剤	—	—	硬化促進剤	<表1>を参照	3.2kg 4L角缶
U-100NEOアンダー柔軟添加剤	—	—	柔軟添加剤	<表2>を参照	2.5kg 4L丸缶